

CEL ホームページ

<http://www.og-cel.jp/>

エネルギー・文化研究所 (CEL) の活動内容や
情報誌「CEL」バックナンバーをご覧になれます。

※ CEL ホームページに掲載する「読者アンケート」にご協力願います。
下記の QR コードで読みとることができます。



Facebook ページ

<https://www.facebook.com/osakagas.cel>

volume127
March 2021

特集

未来を創る

——新しい文化芸術のかたち

2021 (令和3) 年 3 月 1 日発行

発行

大阪ガス(株)
エネルギー・文化研究所 (CEL)
〒541-0046
大阪府大阪市中央区平野町 4-1-2

発行人

金澤成子

企画・制作

熊走珠美

特集担当

栗本智代

編集人

日下部行洋 (平凡社)

編集

(株)平凡社

アートディレクション & デザイン

okamoto tsuyoshi +

校正

(株)アンデパンダン

印刷・製本

(株)東京印書館

お問い合わせ窓口

大阪ガスビジネスクリエイト(株)
TEL 06-6205-4650
FAX 06-6205-4759
CEL@ogbc.co.jp

Research Institute for Culture, Energy and Life
©2021 OSAKA GAS CO., LTD

※禁無断転載複写

※本誌掲載の寄稿文、インタビュー、レポートなどの内容は
必ずしも大阪ガスの見解を示すものではありません。

CELからのメッセージ

コロナ禍に 「全集中の呼吸」で未来を創る！

大阪ガス(株)エネルギー・文化研究所

所長 金澤成子 Kanazawa Shigeko

新型コロナウイルスの感染拡大でエンターテインメント界の
苦境が続くなか、アニメ映画『鬼滅の刃』が歴代興行収
入1位の記録を塗り替える大ヒット作となりました。映画館には、
親子連れから高齢者までが足を運んでいます。なぜ、ここまで
人々の心を捉えたのでしょうか。作品の面白さはもちろんですが、
コロナ禍という大きな変化のなか、生きる指針を失い、新たな
価値観を築かなければならない時代に、「全集中の呼吸」で仲間
と共に運命を切り拓こうとする主人公の覚悟と献身の姿が共
感をよんだのではないかと思います。

今号では、コロナ禍を乗り越えるために、新しい取り組みに
挑戦する現場の事例を紹介しながら、文化芸術の存在意義を考
察しました。大衆娯楽の原点に立ち返り、新たな世界観に挑戦
したART 歌舞伎、世界の観客や男性客も意識した作品で顧客
拡大を図りながら地域と共に歩んできた宝塚歌劇団、地域や人々
に「開かれたアート×空間」の可能性に挑戦する京都市京セラ美
術館など、いずれも時代や国境を超えて、多様な価値観を生み
出し、伝承しています。文化芸術は、経済的価値を超え、人々
の心を無限に動かし、時に行動変容の原動力になる「社会イン
フラ」としての存在意義があると考えます。

コロナ禍の日本において、文化芸術は、「不要不急」の烙印を
押されてしまい、政策支援が手厚い欧州に比べて、重要な「社
会インフラ」と扱われていない現状が露わになりました。1930 年
代の大恐慌以来の最悪の世界経済危機の不安のなか、これを
乗り越えるべく国際協調という世界レベルの「インフラ」が必要
火急ではないかと思います。世界に誇る日本の文化芸術が、この
「インフラ」を創造する土壌となり、世界と共に未来社会を切り
拓くきっかけとなることを切に望みます。

世の中が激変し、価値観も多様化するなか、わが研究所も、
その時代の文化芸術に寄り添いながら、素晴らしさ、愚かさ、
愛しさも含めた人間理解に立って、真に心豊かな暮らしの創造
に、「全集中の呼吸」で挑んでいきたいと思っています。